

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム丹原の郷

(ユニット名) 南町

記入者(管理者)  
氏名 山内美登里

評価完了日 平成20年5月18日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 独自の理念を作っている。		ユニット内で、運営理念以外にも基本理念に基づいたチーム内理念を作る為、職員個々の意見を出し合い話し合うようにしたい。そして、どうありたいかを掘り下げて話し合うようにしたい。
			(外部評価) 「地域行事に参加する」ことを事業所の理念に掲げ、地域とかかわることを積極的にすすめ、町の商店街で行われる七夕祭りや地域祭等に積極的に参加されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ・職員がそれぞれ理解でき覚える事ができるように。各自の名札の中にも、理念を書いたものを入れており、日々見て確認する事ができるようにしている。 ・理念を基本とした考え方を共有し、職員間でも話し合いをし、実践できるように努力している。		ユニット会や申し送りなど、職員全体で話し合いの場を持った時には、確認し合うようにしている。また、新しい職員にも共有できるようにチーム間でも説明し理解してもらうようにしている。
			(外部評価) 事業所の理念を名札の裏に記載し、共用空間にも掲示され、職員間で共有して理念を実践できるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ・ご家族には、訪問時など折に触れ伝えている。 ・見学の方が来られたら案内しながら分かりやすく説明している。 ・地域の方がイベントで来所して下さった時にわかりやすく説明している。		・ホームページで私たちの実践は伝えるようにしているが、プライバシーに配慮しながら情報誌を地域を含めた広範囲へ配布するようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・折に触れ近所の方に立ち寄っていただけるよう声をかけている。 ・散歩や買い物に出掛け挨拶を交わしたり、話したりしている。		・散歩中の方や、花、野菜の話題でも中に入っていたくよう声をかけている。 ・保育園、小中学校、高校などに来所してもらうようにしたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・老人会の案内を受け参加している。 ・地方祭、七夕祭り、年末年始のイベントに参加し、その他案内いただいたりして交流している。 ・菊見会を催しお茶などをふるまい交流している。 (外部評価) 事業所では、利用者とともに菊の花を育てておられ、秋には菊見会等を開催されている。地域の方達の見学も年々増えている。		・催し物について、地域の方々より「案内があれば行きたい」との声が多数あったので、昨年以上にご案内を出してたくさんの方に参加していただきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・地域の研修（例えば人命救助など）に参加し、基本的な事柄から学び役立てるようにしている。 ・実習生の受け入れをしている。 ・ともしび母親クラブや婦人会の研修の場に役立てていただいている。		・職員として地域の方々からの認知症の相談を受けている。 ・わからない事柄や返事できない事は管理者やケアマネージャーに相談している。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・全職員で取り組んでいる。 ・サービスの質の向上や取り組む必要性を話し合い、改善できる点はできるだけ速やかに取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、職員で評価項目を分担して取り組み、話し合いをされてユニットのリーダーがまとめられた。職員は、自己評価作成時、ケアについて振り返り、雰囲気作りや利用者を受け入れることの大切さを感じられていた。前回の評価結果を受けて、介護計画の内容の充実に取り組まれた。		・運営に関することまた、介護に対すること等反省や意識向上に改善に向けて具体案の検討や実践を今以上にしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、家族、地域の方、市町村担当の方や職員が参加して、事業所の取り組みを知っていただき率直な意見を事業所側にお聞かせ頂いている。</li> <li>・会議で出た意見は実行できることは早い時期に取り入れている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員として参加し、推進委員会の委員も一緒に行事やイベントに参加していただく機会を増やしてみたい。</li> </ul>
			(外部評価)		
			会議では、事業所の活動の報告や利用者の暮らしの希望等を発表し、出席者にご意見をいただく等されている。又、介護計画の立て方や、利用料金についても説明等されている。		今後、会議に近所の方等、いろいろな方に参加いただけるよう呼びかけたいと考えておられた。会議時、出席者から意見を引き出せるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議以外にもイベントに参加していただく機会を設けている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の職員の方々にホームへ来ていただく機会を増やしていきたい。</li> </ul>
			(外部評価)		
			介護相談員を受け入れておられ、ケアの質向上に向けて話し合われている。運営推進会議時、市の担当者の方より、ご家族の声の大切さについてお話をいただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会等で学んでいる。</li> <li>・機会あるごとに説明を受けている。</li> <li>・愛媛県社会福祉協議会主催の研修会に参加している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修にできるだけ参加するようにしたい。</li> <li>・学びの努力をし、相談や連携が取れるようにしたい。</li> </ul>
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に参加したり勉強会などで機会あるごとに学んでいる。</li> <li>・地域での情報があれば管理者に相談するように心がけている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も研修に参加し職員は福祉に携わる者として虐待防止に心がける。</li> </ul>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・主に管理者が行っている。 ・ユニットリーダーが説明を行うこともあるが、詳しい内容や質問には管理者が応じている。		・できるだけ多くの職員が説明できるようにしていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・相談員の訪問により、利用者の方々の声が出せるようにしている。 ・運営推進委員会に参加していただき意見を聞いている。		・認知症の程度に関わらず、利用者ご本人からの言動を聞くようにしています。管理者に報告、改善の必要があればすぐにおこなっています。 ・相談員の訪問を喜ばれる利用者が多く、ゆっくり時間を過ごして頂いています。これからも続けていきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・日常生活は文書により報告している。 ・体調に変化があったときはすぐ報告している。		・家族がホームに来られた際、管理者から職員の異動の紹介や自己紹介を行うようしたい。 ・管理者や職員が体調変化を報告し、相談しているので続けたい。
			(外部評価) 毎月、ご家族あての「日常生活報告書」で、利用者個々の暮らしぶりや健康状態等について報告されている。又、遠方にお住まいのご家族の方には、電話等で近況報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・行事等で来て頂いた際に、家族会を開いている。 ・管理者が運営推進委員会や個々に意見を聞き職員への改善すべき所があれば速やかに行っている。		・意見箱の設置があり、誰でも自由にかけるようにしてあるので利用して欲しい。 ・利用者や家族また職員にとってもよい方向へ向かうよう前向きに取り組んでいきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話等でも、ご家族から意見をいただけるよう働きかけておられる。		今後、事業所では、アンケートの様式を工夫する等、ご家族から要望や意見を引き出せるよう、取り組みをすすめていきたいと考えておられた。さらに、ご家族の心情も踏まえて、話し合える雰囲気作りやきかけ作り等、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ・全職員での勉強会やユニット会をする機会を持ち、個々が意見を言える場を設けている。 ・新しい利用者の受け入れなども職員の意見を参考にしている。		・職員一人一人が受け身でいる事が多いので、もっと自分の意見を言うように心がける。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ・日中、利用者の生活に応じた勤務体制ができていると思う。 ・行事や外出時は出勤者を多くするなど協力しておこなっている。		・行事・外出時には出勤者の確保を多めにし利用者の安全に努める。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・利用者の困惑を最小限にできるよう、職員の異動に配慮している。 ・新しい職員が入る場合にも、利用者నికిきちんと紹介して不安が少ないよう配慮している。		・新しい職員が入ったときにはもともたいる職員が仲介となり、利用者とし新しい職員の信頼関係ができるだけ早い時期に円滑に持てるように努める。
			(外部評価) 事業所では、職員の採用時、「人へのやさしさと愛情」を持っていることに重点を置いておられる。職員の悩みには、センター長がゆっくり話を聞き、アドバイスをされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・月に1回勉強会を行っている。内容は問題点について話し合ったり、研修内容などを他の職員に伝えるなどテーマを決めている。 ・研修へはなるべく多くの職員が参加できるようにしている。		・研修で学んできたことを勉強会で発表する事で、再度自分も確認できるので続けていきたい。 ・各種資格への挑戦をしていきたい。
			(外部評価) 職員の希望を聞き取り、勉強会を行なっておられる。又、系列病院で「感染症について」や「老人医療について」等、定期的に勉強する機会が設けられており、職員は交代で参加されている。		職員は、介護の知識や技術の向上に向けてさらに勉強を重ねていきたいと話しておられた。今後も、職員の段階に応じた研修等を重ね、貴事業所のさらなるサービスの質の向上に向けて取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡協議会や法人内での交流の機会を持っている。</li> <li>・同一法人内の施設との交流や地域の施設との交流を図る機会を与えられる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループホームへ見学に行ったり、研修会で意見交換を行う場を作ったりする。</li> <li>・本年も相互評価研修に参加するように計画している。</li> </ul>
			(外部評価)		
			相互評価時に交流のあった他事業所の職員とは、その後も菊見会に訪問がある等、交流を続けておられる。又、地域の福祉施設とともに果物狩りを楽しまれる等、交流を持っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間内に職員同士が協力して休憩をとるようにと日頃から呼びかけている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間内に職員同士が協力して休憩がとれるように努力している。</li> <li>・休憩室内をリラックスできる雰囲気にするために椅子やソファを置く。</li> </ul>
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット内を頻繁に訪れ、利用者の状態や職員の動きなどを把握するようにしている。</li> <li>・評価表により賃金への反映をしてくれている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員からも疑問に思っていることなどを管理者に積極的に聞くようにしたい。</li> </ul>
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人と話をし、何を求めているのか不安に感じている事は何かを理解しようとしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所間もない時期に個々に話す時間があまりとれていないので少しでも個別に話せる時間を作り、ゆっくりと話を伺い相談相手となるように心がける。</li> </ul>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ・主に管理者が対応している。 ・面会時などに、本人の事家族の事など話をして家族の考えや意見を聞くようにしている。		・家族がもっと話やすくなるよう信頼関係を築いていきながら、不安や求めていることなどが聴くように努める。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ・本人や家族の思いを聞き、何が大きかを見極め対応できるようにしている。 ・他のサービス内容については管理者や併設のケアプランセンター職員にも相談できるように援助している。		・何度も話をする中で、何が本当に必要かを素早く見極められるようにしたい。 ・介護保険や高齢者サービスについて勉強し対応できるようにしていきたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ・認知症デイサービス（共用型）利用や併設のデイサービス利用により施設や場所に馴染みの関係ができるように家族やケアマネージャーと相談し合う様になっている。 (外部評価) 併設のデイサービス利用者の入居もある。入居前には事業所を見学いただき、事業所での生活について説明をされる等、ご本人、ご家族ともに納得を得て入居に至れるよう取り組まれている。		・個々の利用者に応じての対応ができるようにサービス担当者等にも参加し協力できるようにしていきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ・料理や掃除、選択を一緒に行う中で調理方法を教えていただいたり、干し方、たたみ方がいろいろあるのだという事を学んだりしている。 ・行事などを一緒に楽しんでいる。 ・一緒に食事を取ったりお茶を飲みながら自分の生活の話をする事もある。 (外部評価) 職員は、利用者同士のかかわり方等から「付き合い方」を学んでおられる。利用者から料理等、家事を教えていただくことも多い。		・利用者から知恵をいただいたり風習を教えていただけるような場面を作るように今後も努める。共に笑ったり泣いたりできる関係を築けるようにする。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ・1ヶ月に1回、日常の様子をお手紙に書いて送付したり、面会時には、利用者の状態をお話したり、相談したり、昔の話を聞いたりしている。 ・受診等、家族が付き添って行って下さる。		・利用者の身体的また、精神的状態をこまめにお話したり、相談していくことによりまかせきりになることのないようにし、家族関係をよりよく保つように支援する。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ・行事への参加を呼びかける。 ・手紙などを書く。(年賀状など)		・継続して行う。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) ・知人の面会などはまれにあるが、施設から面会を促すのではなく家族に協力をさせていただくようにしている。 ・敬老会への参加などはできるよう支援している。		・話の中でなじみの場所などを聞き、ドライブの行き先などを決める時に参考にする。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ・利用者同士の関係性を把握し、一緒に盛り付けをしたり利用者同士で会話ができるように職員がパイプ役になっている。		・日頃より本人と職員が個々に話をするのではなく、利用者も交えて話すようにする。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ・サービス利用が終了後の関係は途絶える事が多い。		・行事への参加を手紙などで継続して呼びかける。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			・一人ひとりの希望を聞いている。わからない人は、家族に聞いている。 ・一人ひとりに関心を持ち、把握しようとしている。情報交換を常にしている。		・家族会など情報交換をする場をつくり、一人ひとりの意見を聞く。
			(外部評価)		
			職員は、日常的に利用者ご本人から希望等を聞くようにされている。ご不満があるような場合には、ゆっくりと納得のいくまでお話を聞き、話し合うようにされている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			・家族や本人と話をして生活歴を聞いている。 ・これまで利用した施設の情報提供書や介護・看護要約を参考にするようにしている。		・より家族や本人と話をして昔の話などを聞き、把握に努める。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			・毎日、昼夜、生活記録をつけ、職員全員が情報を共有するように努めている。 ・1日の状態をタイムテーブルに記録している。		・一人一人の有する力をもっと発見するよう努める。
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			・本人、家族の要望を聞いた上で、ユニット職員で相談して、介護計画を作成している。 ・地域の相談員さんも1回/月来られ話をしている。		・家族の意向や現状も大切にしながら検討する。ケアカンファレンスで家族を含め多くの人が意見を出し合えるようにする。
			(外部評価)		
			毎月、職員が集まり介護計画について話し合い、ご家族の意見も採り入れ、計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のユニット会で、話し合い見直ししている。</li> <li>・ケアカンファレンスを定期的に行っている。</li> <li>・大きな変化が生じた時は、その都度話し合いを行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい目標をたてて個々の個性を生かした介護計画になるようにしていきたい。</li> <li>・アセスメントの大切さを認識し、利用者の状態をしっかりとつかめむことができるように努める。</li> </ul>
			(外部評価)		
			定期の見直しと、状態変化時には随時の見直しを行なっておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画を立て、個々のケア記録を基に介護計画の見直しをしている。</li> <li>・ケアチェック表を作成し見直しに役立てている。</li> <li>・食事量、排泄のチェック、本人の言葉や態度を記録している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続する。</li> <li>・記録忘れがあるので、きちんと記録する。</li> </ul>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に管理者ががご本人や家族と話し合い、在宅への支援を行ったり、他サービスへの支援を行うこともある</li> <li>・主に管理者が認知症対応型デイサービス（共用型）や併設のデイサービスの利用から始め入居への垣根を低くするよう支援することもある。</li> </ul>		
			(外部評価)		
			地域の要望も多くあり、事業所内でショートステイや通所介護を受け入れておられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ・消防訓練を実施する。 ・必要な時は民生委員が面会する事がある。 ・ボランティアの歌謡ショーや野菜作りなどをしていただいている。 ・センター内で交通安全の話がある。		・協力しながら行っていく。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ・必要に応じて、ヘアカットや顔そりのボランティアなどの訪問、理美容サービスを受けている。		・必要があれば、他のサービスを利用する支援をしたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ・併設事業所のケアマネージャーが常勤しているので連携をとってもらっている。 ・主に管理者に頼っている。		・管理者のみでなく職員全員も対応できるようにしていきたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・週に1度施設担当医の往診の往診がある。 ・個々にかかりつけ医がある事を職員が把握している。 ・かかりつけ病院に家族が同行できない時は、職員が代行している。(受診内容が家族と共有できている。) ・協力医療機関の先生と相談しやすい。 (外部評価) 協力医療機関とは、24時間いつでも相談できる体制があり、事業所や併設のデイサービスの看護師とも相談しながら対応されている。		・継続して行う。 ・24時間担当医や協力病院と連絡をとることができる環境にあるので今後も必要に応じて相談や指示をいただき適切な医療を受ける事が出来るよう支援していきたい。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ・必要に応じて、専門医に相談している。 ・受診時に日頃の状態を伝えたり、相談にのっていただいたり、適切な治療を行っていただくために連絡を密にとっている。		・継続して行う。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ・体調が悪い方がいたり、異変に気付いた時は看護師に相談し指示を仰いでいる。 ・施設看護師や担当医師と24時間連絡がとれる体制をとっている。		・利用者の状態を医療機関に正確に伝えることができるようにする。 ・高齢者の医学知識を深めるよう努める。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ・入院時には、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。 ・主に管理者や看護師が病院と連携をとっている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ・勉強会を行い、スタッフ同士で学んでいる。		・家族、医師、看護師を交えて話し合いをおこなっている。 ・看取りの指針やマニュアルを全職員で勉強しあう。
			(外部評価) 入居時、ご本人ご家族に事業所の浴室や浴槽等も見ていただき、事業所でどの段階まで対応可能か知っていただき、納得いただけるよう取り組まれている。ご家族は、ご本人の状態に応じて、医師とも話し合うようになっている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ・勉強会を行い学んでいる。		・本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取っている。 ・急変した場合は、すぐ対応していただけるよう医療機関とも密に連携を図り対応している。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ・ご家族、ケア関係者間で十分な話し合いや情報交換をしている。		・他の施設変わられた場合は、入居中の様子を詳しくお伝えしたり、ケアプランや支援状況等を手渡すとともに、情報交換を行っている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・勉強会やユニット化等でスタッフ同士で言葉かけや対応の仕方等を見直し、話し合っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者個々の性格等も把握して対応されている。</p>		<p>・誘導の声かけも、さりげなく声かけや対応している。 ・日々の関わり方をスタッフ同士で話し合っている。</p> <p>さらに、職員の利用者に対するかかわり方について「さりげないケア」という点から話し合う機会とされてはどうか。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・利用者に合わせて声かけしたいり、聞き取りにくい方には筆談をして対応している。</p>		<p>・ささいな事でも本人が決められる場面を作っている。 ・表情からも利用者の思いが汲み取れるような支援をしていくように心がけている。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・一人一人のペースに合わせ、希望に添って支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自宅で飼っておられた愛犬と一緒に入居された方は、雨の日も、職員とともに散歩をさせておられる。昼食後に、共用空間の和室で横になっておられる方もおられた。</p>		<p>・その日、その時のご本人の気持ちを尊重している。 ・買い物や散歩等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ・更衣等は、職員は見守りや支援が必要な時は手伝うようにしている。 ・散髪は決まったボランティアさんをお願いしているが、利用者によっては家族にしてもらう人。家族と行き着けの店に行く人もいる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・食材切り、盛り付け、洗い物を一緒にしている。  (外部評価) 食事作りに、利用者の力量に応じて、無理なくかかわることができるよう場面作りをされている。らっきよや梅を漬ける等、季節のものや旬のものを採り入れ、利用者に教えていただきながら作っておられた。		・利用者と一緒に採ってきた畑の野菜などの食材も使って一諸に食材切りなどしている。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ・お酒、たばこは置いていない。 ・おやつ作りを一緒にする時もある。		・毎日ではないが、お茶の時間を楽しんでいただけるように月1回程度お茶会(抹茶)をしたり、おやつ作りをしたり、季節の話題を出し、何が食べたいかなど聞いて取り入れている。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ・時間や習慣を把握し、トイレ誘導している。 ・一人一人の状態を把握し紙パンツの使用を減らすよう職員間で話し合い実行している。		・排泄チェック表を使用しており、尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導する事により、トイレで排泄できるよう支援している。 ・排泄のパターンを把握し、トイレ誘導をするようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			・入浴回数や長さは利用者の希望に合わせてしているが、時間帯は職員の人員の都合上無理な事もある。		・遅い時間帯の入浴を希望する時もあるのでできる限り希望に合わせる。
			(外部評価)		
			入浴時、身体は出来るだけ自分で洗えるよう支援されている。足湯を楽しみに出かけられることもある。		利用者の中には温泉を楽しみたいというような希望も出されている。ご家族にも協力を得る等、さらに、利用者個々がお風呂を楽しめるような支援を重ねていけることが期待される。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			・リビングにソファを置いたり、廊下や居室には椅子をおき、ゆっくりとしてもらうようにしている。 ・就寝に向けては、温かい飲み物を飲み、寝付きやすく配慮している。		・夜眠れない利用者には、無理強いをせず夜勤者が話し相手となったり日中の生活リズムを見直す等申し送りをきちんと行う。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			・一人ひとりの得意な事やできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。 ・利用者の経験や知恵を発揮し、梅干し作りや干し柿作り等をしている。 ・地域の行事にも参加している。		・利用者の豊かな暮らしを支えるために一人一人の役割、楽しみ等を作りだす職員の働きかけが重要であることを常に意識し、介護にあたる。
			(外部評価)		
			季節に応じて果物狩りやお花見を楽しまれている。又、畑の世話や利用者それぞれの鉢で菊を育てておられる。雨の日でもウッドデッキでくつろげるようになっていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			・買い物に出る機会を作り、楽しく買い物を行えるよう支援している。		・買い物に出る機会を作り、楽しく買い物を行えるよう支援している。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			・天気や本人の気分や希望に応じて、散歩に出かけたり、外食を楽しんだり、お弁当を持って戸外に出かけたりしている。		・気分転換やストレス発散、五感刺激を得られる貴重なチャンスとして日々の中で生かしていくように心がける。
			(外部評価)		
			天候等を見ながら毎日散歩を楽しまれている。時に、利用者の馴染みの場所に出かけてみるようなこともある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			・本人の思いに添って、ご家族一緒に墓参りをする。		・本人が行きたいと思う遠くの場所への外出についてはご家族の協力を依頼する。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			・プライバシーに配慮しながら、電話しやすい雰囲気作りをしている。 ・年賀状を出すための支援を行ったり、利用者の希望に応じてお便りを出せるよう支援している。 ・家族から便りが来たらできるだけ返信するように職員はハガキを用意したり一緒に文章を考えたり文字の支援をしている。		・手紙が書けない、電話はかけられないと決めつけずに、利用を促したり、丁寧に支援していく。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			・ご家族の都合のいい時間帯に、いつでも訪ねてきていただけるよう配慮している。 ・気兼ねなく過ごしてもらえるよう居室でお茶をお出しして近況報告をしている。		・自然な形で歓迎するようにし、さりげなく間を取り持つような配慮をする。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・ユニット会や日々の申し送りにおいて、ケアを振り返り、精神的にも身体拘束がおこなわれていないか点検している。		・その人の人権を守る事がケアの基本であるという認識に立ち、「拘束は行わない」という姿勢が必要だ。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・利用者が外出しそうな様子を察知したら止めるのではなく、声かけしたり、一緒についていく等安全面に配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。		・職員の見守り方法を徹底し、一人一人のその日の気分や状態をきめ細かくキャッチする。
			(外部評価)  日中、玄関には鍵をかけず、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  ・日中はリビングで見守りをし、居室で過ごす利用者には時間ごとに声かけをしている。 ・夜間は2時間ごとの巡回を行い、覚醒時にはすぐ対応できるようにしている。		・奥まった事務所や台所等の構造で、利用者の様子が分かりにくい場合には他の職員と協力して見守れるようにする。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  ・厳重に保管すべきものと利用者が扱う時に注意が必要なものに分けて管理している。		・管理が過剰にならないよう、本人の力を生かした日常生活を営む上で、必要な場合は危険を防ぐ取り決めや工夫をする。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ・ヒヤリハットを記録し、職員間で反省し合いの共有認識を図っている。 ・今後の予防対策について検討し、ご家族への報告をおこなっている。		・未然に防ぐための方策や一人ひとりの状態から考えられるリスクや危険を検討し、事故防止に生かしていくことが重要だ。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  ・緊急のマニュアルなどを作っているが、全職員が把握できているか分からない。		・一人ひとりがマニュアルに目を通す。 ・定期的に勉強会などをする。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  ・避難訓練、避難経路の確認、消化器の使い方の訓練などをおこなっているが、勤務の都合上訓練に参加できない職員もいる。  (外部評価)  年2回火災時の訓練を行っておられ、地震時の対応についても話し合っておられる。避難場所の確認をされている。		・職員全員が訓練に参加できるよう訓練回数を多くする。  今後、夜間を想定しての避難訓練や、利用者とともに避難訓練を行いたいと考えておられる。さらに、地域の方達との相互協力体制を作っていくことも期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  ・入居時やA D Lに変化があったときなどには家族に説明を管理者が行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  ・一人一人の様子などの変化が見られた時は、バイタルチェックなどを行い、記録をつけている。 ・体調の変化に気付いたら看護師が状態を確認するようにしている。 ・状況により医療受診している。		・一人一人の疾病や留意事項を職員全員が把握できるように勉強する機会をつくる。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・お薬表のコピーなどを整理し、職員が内容を把握できるように努めている。 ・服薬時は本人に手渡したり、口に入れてあげたりしてきちんと服用できているか確認している。		・職員一人一人が薬の内容を把握できるよう、分かりやすい薬剤のは早見シートなど用意する。 ・薬剤師の指導を受ける勉強の機会をつくる。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・食材の工夫をしている。ヨーグルトなど乳製品を取り入れている。 ・散歩など身体を動かす機会を適度に設けて、自然排便できるように取り組んでいる。		・便秘予防に向けて、食事やお安の食材やメニューの工夫をする。 ・水分摂取量を多くするようにしている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ・毎食後の歯磨きの声かけを行い、見守ったり、介助をおこなっている。就寝前は義歯をのけてもらい、週2回洗浄をおこなっている。		・入れ歯の管理、手入れを確実にできるように支援する。 ・口の中の手入れの必要性を職員全員が理解するように学習する。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・食事の摂取状況を毎日チェック表に記録している。 ・必要な摂取水分量が1日を通じて確保できている。		・一人一人に合った支援を工夫していくようにする。 (好みのもの・本人にとって美味しい物)
			(外部評価) 利用者の状態に応じて減塩に心がけられたり、調理方法等にも配慮をされている。水分摂取にも気を配り、夜間トイレに起きられた際には、水分を摂れるようすすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) ・インフルエンザ予防接種を受けている。 ・手洗いうがいの施行をこまめにしている。 ・ペーパータオルを使用するなど、予防・対策に努めている。		・職場内で起こりうる感染症について、マニュアルを作り、職員一人一人が学習する。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ・布巾など漂泊し清潔を心がけている。 ・冷蔵庫の掃除をしたり、食材に残りは状態を確認し、冷蔵したり処分したりしている。		・食材の在庫票を作成したり、冷蔵庫の整理日をきめる。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ・利用者さんたちの写真などを貼って、ご家族が来られた時に見て楽しまれています。 ・季節の草花を育てたり飾って近隣の方との話題作りをしている。		・利用者や来所される方の視点で、ホームに入りやすい配慮をする。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・フロアの飾りつけは季節によって変えている。 ・家具の配置は利用者と一緒に考えて工夫している。 ・季節の花や果物を飾っている。		・利用者の居心地の良い場所、安心感のある場所になる様に工夫する。
			(外部評価) 共用空間に和室があり、洗濯物を畳んだり、横になって休んでおられる方もうかがえた。玄関周りの草花を眺められるよう、ベンチが設置されていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ・廊下に椅子をおき、一人で過ごしたり、仲の良い利用者同士でくつろげるスペースを作っている。		・利用者の状態の変化、利用者同士の関係性など配慮した居場所作りや環境作りを心がける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の持ち物が分かるよう工夫をしている。</li> <li>使い慣れた日用品を作っている。</li> <li>家族の写真などを貼っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>名前を書いている。</li> <li>家族からの手紙なども分かる所に貼っている。</li> </ul>
			(外部評価)		
			ご家族からのプレゼントを大切に飾られている方がおられる。介護度が重度で居室で過ごすことが多い方には、ご家族からの要望でお好きな花の写真が多く飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>温度調節はこまめに実施している。</li> <li>空気の入替は清掃の時にやっている。</li> <li>お花を生けたり季節の果物の香りを楽しんだり出来るように支援している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>個人差があるので来ている服の枚数などを数えている。</li> <li>外気温との差がありすぎないように常に配慮する。</li> </ul>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>手すりやシルバーカー使用で自立できている。</li> <li>利用者の自立を意識した工夫をしている。</li> <li>洗濯干しの高さなどを調節している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>シルバーカーや手すりを持たないで歩いている利用者があれば、声かけ支援をしている。</li> </ul>
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>食材切り等は、身体状況に合わせてしている。</li> <li>利用者のできることややりたいことをサービス計画に反映している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>台所を使う人、またテーブルで食材切りをする人と考えている。</li> <li>ユニット会で話し合っている。</li> </ul>
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外での日光浴はほぼ毎日している。椅子を設置してゆっくりくつろげるようにしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>外へは、好きな時に出られるようにしている。</li> <li>菊を育てられるようにしている。</li> <li>利用者とともに花の水やりをしている。</li> </ul>

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	拒否した場合、なぜなのかを知る。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ソファに座り談話や歌などを歌っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居室で臥床していたり、新聞を読んだり、日光浴をしている人がいる。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	好きな事はうれしい顔をする。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたい希望者があれば支援する。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎週、医師の往診がある。協力病院との連携が取れている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況判断は的確に対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時にケアプランの話をしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	ボランティアの方が来ている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	会議には時物との民生委員の人も出席していて意見なども発言している。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員自身も利用者に学ぶこともあり楽しんでいることもある。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・穏やかな雰囲気の中での生活を支援している。  
 ・庭には草花をたくさん育てており、四季の花を楽しんでいる。また、地域の人たちにも話題にさせていただいている。  
 ・菊を150鉢程度育てており、秋には菊見会を行いご近所の方や高齢者施設の方々を招待して共に楽しんでいる。  
 ・地域の果樹栽培をされている農家へ、季節季節の果物狩り(いちご・さくらんぼ・すもも・いちじく・ぶどう・柿・栗)に出掛けている。  
 ・自然や季節を感じる気持ちを大切にするために食材もできるだけ地元の新鮮な物を使い、季節感のある献立にしている。  
 ・町の一大イベントである丹原商店街七夕祭りには利用者で作った笹飾りを出展し地域の方と協力しあっている。